

## 1.5 筑後川右岸の被害想定

### 1.5.1 洪水の想定

- 洪水の想定は、概ね150年に1度の割合で発生する降雨によるものとする。

表 1.5.1 洪水計算条件概要（筑後川右岸）

項目	条件
雨量	521mm/48時間
降雨波形	昭和28年6月洪水
河道	現況河道（平成20年3月測量河道）
洪水調節施設	なし

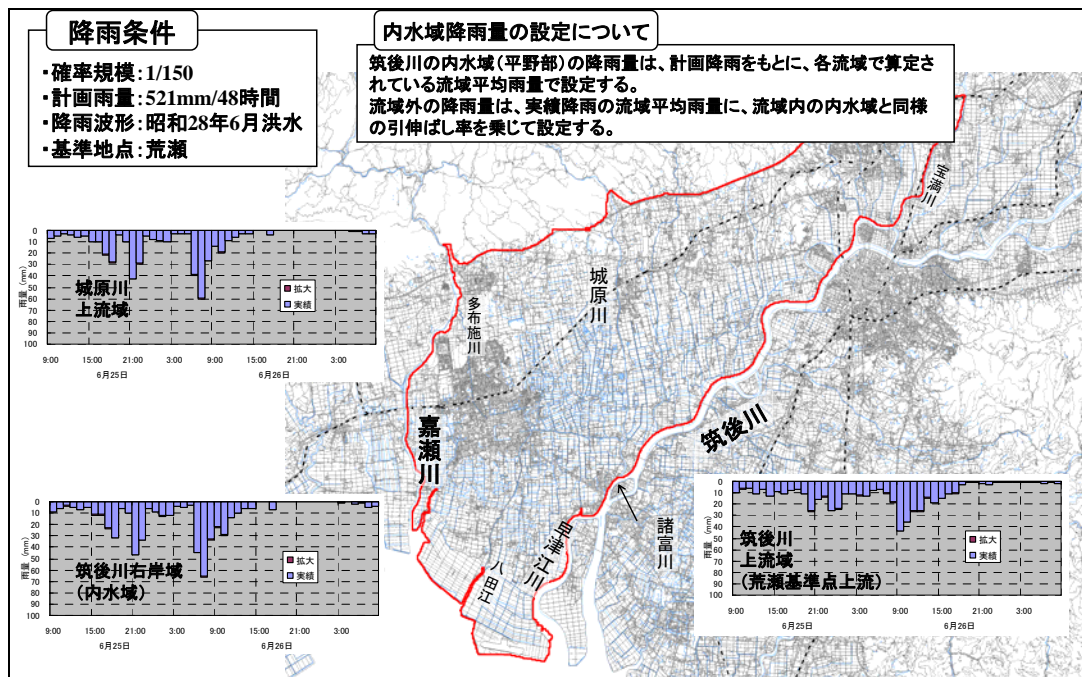


図 1.5.1 降雨条件（筑後川右岸）

### 1.5.2 浸水想定のお考え方

- ・ 避難誘導、救助活動等の具体的な応急対応策は、堤防が決壊する場所によって異なってくることから、様々な堤防決壊箇所から類似のはん濫形態を持つ区域をはん濫ブロックとして分類し、各ブロックの区間毎に一つの堤防決壊箇所を設定する（複数箇所の決壊は想定しない）。
- ・ なお、はん濫ブロックは、堤防決壊時にはん濫水が拡散する区域をさし、堤防や道路などのはん濫水の拡散をさえぎる盛土などで囲まれた区域を設定している。
- ・ 想定する堤防決壊箇所は、はん濫開始流量が小さい箇所、決壊はん濫開始水位と決壊後の敷高の比高が大きい箇所、重要水防箇所などの複数候補地点を個別にはん濫シミュレーションを行い、はん濫流量が最大となる箇所で設定する。

(注) 想定堤防決壊箇所は、特に他の場所と比較して決壊の危険性が高いことを示すものではない。

筑後川右岸のはん濫ブロックおよび想定決壊箇所は、以下のとおりとした。

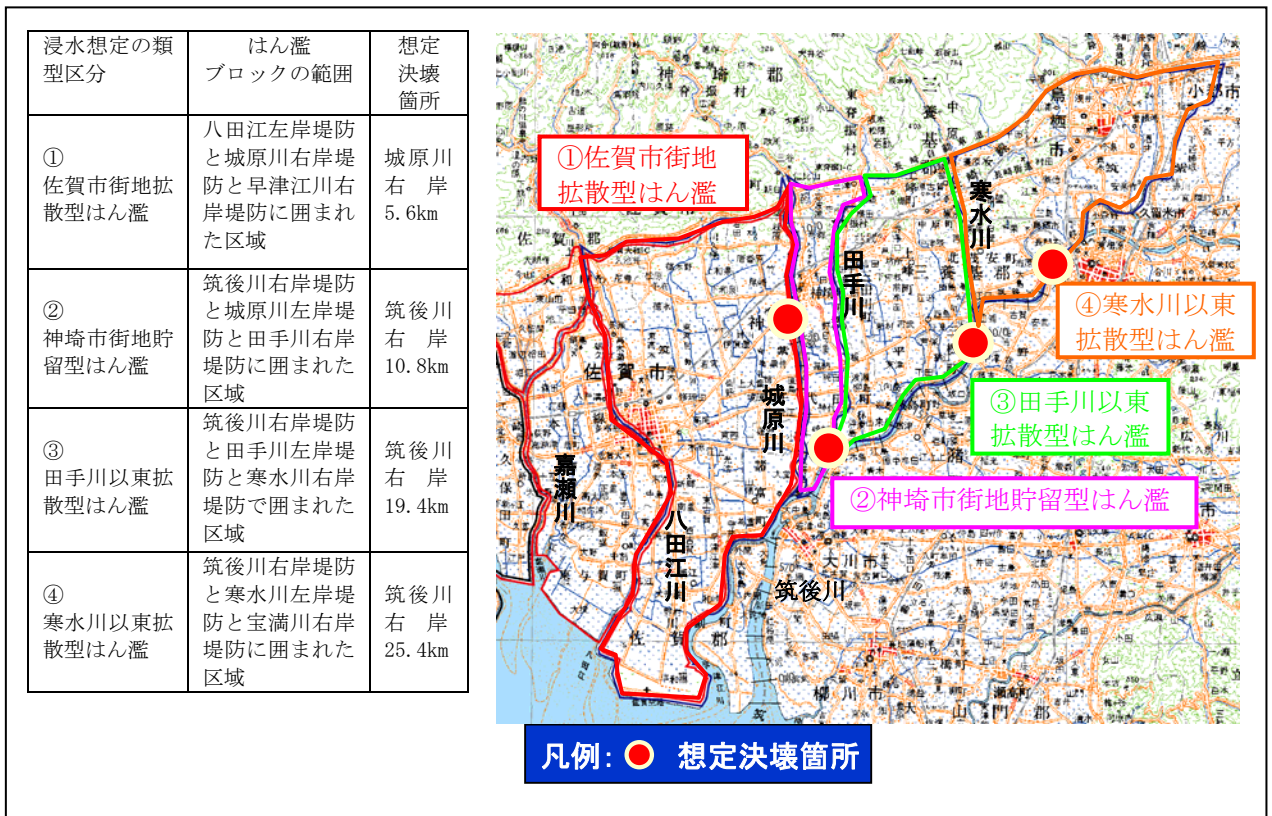


図 1.5.2 筑後川右岸のはん濫ブロックおよび想定決壊箇所